

さかきじんじゃこまいぬ
「坂城神社狛犬」 町指定有形文化財（彫刻）

所在地：大字坂城（坂城神社） 所有者：坂城神社 指定：平成 11 年 4 月 1 日

天和 2 年（1682）石川市左衛門義孝奉納の銘が刻まれています。寄進者は、天和 2 年（1682）から元禄 16 年（1703）までの 22 年間坂木に陣屋をおいていた坂木藩板倉氏の家臣です。

この狛犬は、当地方を板倉氏が領地としていたことを証するものでもあります。

狛犬の容姿は板状台付一石彫成、全体は小形ですが、胴はよくしまり、胸の張りも広く、引き締まった姿をしています。頭の後ろに処理されている巻き毛の作りも丁寧です。獅子の独特な面相をもち、前方をにらんで神社を守護する風格があります。造形的にみて、中世の面影が認められます。

制作は江戸時代中期頃で、町内の石造物としての狛犬では、古い方になります。石質は、中粒灰色砂岩です。

法 量 (阿) 高さ 53 cm 幅 33 cm 奥行 50 cm

(吽) 高さ 53 cm 幅 33 cm 奥行 50 cm

記 銘 文 「奉寄付高麗狗一雙 石川市左衛門義孝」

「天和二年八月壬戌」

